



あぶたん うしん 173号



サケの稚魚放流体験

4月16日(月)に亙理町農林水産課主催で亙理船着場(阿武隈川河川敷地)にて5万匹の「サケの稚魚」を阿武隈川へ放流する体験が行われました。

今回は荒浜小学校5年生18名と高屋小学校5年生10名が参加しました。

生徒たちは、稚魚が大人になって再び生まれ故郷の阿武隈川に帰ってくることを願い、「大きくなって戻ってきてね！」と声をかけながら、サケの稚魚を送り出しました。



大きくなって
戻って来てね♪



サケの稚魚



プチ

サケについての情報

サケは群の中から夫婦が生まれ、それから巣作りが始まります。産卵される卵は1尾当たり約3,000粒です。産卵後も夫婦で数日間卵を守っていますが、やがて力つきオスもメスも息を引きとります。こうして生まれたサケの稚魚は3~5年後、大きく成長して親魚となり、産卵のために生まれた川に帰って来ます。

実際に戻ってくるサケの数は放流数の3~4%と言われています。

多くのサケが戻って来るよう、不法投棄等をしないようにお願いします。

堤防徒歩点検を行いました

①点検方法

岩沼出張所では、梅雨時期の大雨による洪水に備え堤防の崩れや亀裂などの異常・変状箇所の早期発見に努めており、職員と委託業者で管理する堤防の全区間を1日あたり約10kmを徒歩で目視点検をします。

②点検期間

4月17日、23日、26日、5月8日(予定)

③点検後の措置

今回の点検で大きな異常はありませんでした。
点検により緊急を要する異常が確認された場合は、速やかに必要な対策を講じます。



安全利用点検を行いました

①点検方法

河川施設の利用者が増えるゴールデンウィークに向けて、船着場や公園・運動場の利用にあたって異常がないかを確認します。

②点検期間

4月18日、19日

③点検後の措置

今回の点検で大きな異常はありませんでした。
点検により緊急を要する異常が確認された場合は、速やかに必要な対策を講じます。



川や堤防の異常・変状箇所を発見されましたら、お手数ですがご連絡をお願いします。